

家族で取り組む家事・育児支援セミナー【秋田県湯沢市】

総事業費	837 千円
交付金額	419 千円

地域の実情と課題

【地域の実情】 当市の産業別就業者数は、製造・建設等の第2次産業、小売りやサービス業といった第3次産業就業者数が全体の約87%となっており、製造業やサービス業といった働く時間や場所に制約がある中で、家事・育児等を担っている女性が多い。

【課題】 当市の女性のワーク・ライフ・バランスは、家庭生活への比重が大きくなっており、職場で活躍したいという女性とその個性と能力を十分に発揮できる環境が整っているとは言えない状況にある。

事業の特徴

女性が仕事と家庭を両立し活躍するためには、職場の理解や家庭における男性の家事育児への参画が必要となってくる。しかし、性別的役割分担が根強く、女性が家事や育児をするもの、男性は仕事という意識を持つことが多いため、女性が両立に悩み、仕事を辞めてしまう要因となっている場合も少なくない。そのことから、働きたい女性が活躍できる場を作るための職場の環境づくりや、男性の家事育児への意識改革、女性の働くことへの意識向上等を目的としたセミナーを開催し、女性活躍社会の実現に向け、地域全体の機運を高めていくことを目的としている。

事業の効果

○第1回目は、家庭内の「お互い様」を考えるためのセミナーを開催。セミナーでは、心と体にゆとりを持ちお互いの理想を押し付けないこと、パートナーの「やれない」「やりたくない」「苦手」なことを理解してカバーし合うことなど、カジダン・イクメン実践のコツなどについて学んだ。

第2回目は、父と子で取り組む料理教室を開催。親子で一緒に協力し合いながら、ハンバーグの基本的な調理法を学び、子どもたちは興奮しながら、お父さんと料理に挑戦するワクワク感が広がっていた。教室後、家庭でも口コモコ丼に再度チャレンジして家族に振舞ったという声もあり、家事や育児に対する男性の意識改革のきっかけづくりができたと思う。

目的・目標

【目的】 女性が抱える活躍に対する不安を払拭し、その個性と能力を十分に発揮できるよう支援する。

【目標】

- ワーク・ライフ・バランスの推進に取り組んでいる事業所等の割合を80%以上とする。 ➢ 73.4%(R2)→63.6%(R4)
- セミナー参加者数を10組以上とする
➢ 第1回：7組、第2回：6組

連携団体

- ①経済団体：商工会議所等への事業周知、各種事業への参加
- ②市内企業：イクボス企業等への事業周知、各種事業への参加
- ③教育機関：市内小学校、保育園、幼稚園、子育て支援センターへの事業周知、各種事業への参加
- ④あきたF・F推進員：事業周知、各種事業への参加

今後の課題

家庭、職場、地域住民の意識改革により、お互い様の精神を醸成することが課題克服のキーポイントと捉えている。女性活躍を推進するため、男性の家事育児参画や家事や育児を分担してできる方法を家族全体で体験する機会の創出、参加者同士での情報交換の場を設けるなど、男性の家事育児への参画を促進することで、女性の仕事と家庭の両立を間接的に後押ししていくことが必要である。

家族で取り組む家事・育児支援セミナーの開催

子育て世代の男性の家事育児への参画を図ることを目的としたセミナーを開催

第1回セミナー

【～家族がハッピーになるイクメンの作り方～「家事と家族の寄り添いマネージメント」】

日時：令和5年9月16日（土）10時～正午

会場：湯沢グランドホテル

講師：合同会社あきたこまちネット代表社員／NPO法人ファザリング・ジャパン東北事務局長 本田 正博 氏

対象：市内に在住または在勤の夫婦（男性のみも可）

参加：7組15人

内容：家庭内の「お互い様」を考えるためのセミナー



第2回セミナー

【～家族にモテる！カジダンの作り方～「パパ'sクッキング！父と子の料理教室」】

日時：令和5年10月21日（土）10時～13時

会場：雄勝文化会館調理実習室

講師：キッチンsawasawaオーナーシェフ 伊藤 由喜弘 氏

対象：市内に在住または在勤の父親（夫婦も可）と子

参加：6家族14人

内容：父と子で取り組む料理教室

